

2024 年 1 月 23 日

通貨ニュース

インドネシア:大統領選挙プレビュー～三度目の正直なるか～

インドネシアでは、2月14日に大統領選挙の投票日を控える。ジョコ・現大統領の再選は憲法で禁止される中、3名の立候補者が討論会などを通し選挙戦を戦っている。なお、インドネシアの大統領選挙は、候補者が副大統領とセットで出馬する形態となっており、投票者は正副大統領候補のセットから、投票先を選択する運びとなっている。なお、2月の投票において過半数を上回る票を獲得する候補者が現れなかった場合は、上位2名による決選投票が6月に実施される予定となっている。本欄では、3組の候補者のプロフィールや主張する政策、現状の支持率を確認したのち、金融市場への影響を簡単に整理したい。

金融市場部
長谷川 久悟
03-3242-7065
kyugo.hasegawa@mizuho-bk.co.jp

まず、第一の候補者は、プラボウォ・スビアント国防相だ。同氏は、過去2回の大統領選挙でジョコ氏に敗北しており、今回は「三度目の正直」を狙う立場にある。副大統領候補には、ジョコ氏の長男、ギブラン・ラカブミン氏(ラカルタ(ソロ)市長)を擁立しており、ジョコ氏の人気を最大限活用する構えだ。主張する政策としては、現状路線を引き継ぐ姿勢を明言しており、首都移転プロジェクトや、資源の「川下化政策」(*)を継続させることを強調した。第二の候補者は、ガンジャル・プラノウォ前中部ジャワ州知事だ。副大統領候補には、マフモディン(マフッド・MD)政治・法務・治安担当調整大臣を擁立している。ジョコ氏を支える与党、与党闘争民主党からの出馬であり、当然のごとく、主張する政策も、現状路線の継続だ。この点、プラボウォ氏の主張との差別化は難しい。第三の候補者は、アニス・バスウェダン前ジャカルタ特別州知事だ。同氏はムハイミン・イスカンダル国会副議長兼民族覚醒党(PKB)党首を副大統領候補に擁立しており、現状路線の否定を主張している。具体的には、首都移転計画の見直しを叫び、その予算を福祉やインフラ整備に回すことを主張している。なお、資源の「川下化政策」に関しては、大きな政策転換は主張していない。

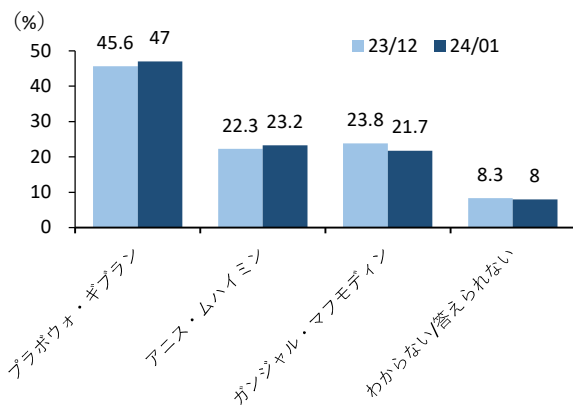
次に、足許の世論調査を確認したい。Lembaga Survei Indonesia が、1月20日に公表したサーベイ(1月10～11日に実施)を参考にすると、3組の正副大統領候補のうち、プラボウォ氏・ギブラン氏の組み合わせが優勢な状態が続いている(図表1、2)。もっとも、支持率には頭打ち感もあり、過半数の50%に届いていないことも重要である。残りの2組に目を移せば、ガンジャル氏・マフモディン氏の失速が目立つ一方で、アニス氏・ムハイミン氏は徐々にではあるが支持率を伸ばしている。とはいえ、いずれのペアも支持率は20%台であり、やはり優勢とは言い難い状態だ。背景としてはジョコ・現大統領への支持率の高さがあると考えられ(図表3、4)、同氏の正統な後継者とみなされる、プラボウォ氏・ギブラン氏の組み合わせが人気を集めるのも必然だ。このような情勢に鑑みれば、選挙が1回で終わらず、結果が6月の決選投票に持ち越しになる可能性は相応にあるが、プラボウォ氏・ギブラン氏のペアが当選する公算は非常に大きい。

IDR 相場にとってみれば、プラボウォ氏・ギブラン氏の当選は、現状路線の継続であり、それほど材料視されない可能性が高いだろう。しかしながら、2月の

選挙でアニス氏・ムハイミン氏陣営が予想外に得票率を伸ばした場合、第二回投票に向けては政治不透明感から IDR は売られやすいと見込んでいる。ただし、その場合でも、ガンジャル氏・マフモディン氏に投票した人々の多くがプラボウォ氏・ギブラン氏陣営の支持に回することは想像に容易く、同陣営の牙城を崩すことは非常に難しい。結果、プラボウォ氏・ギブラン氏の当選が固まれば、不透明感も後退に向かうだろう。総じて、国内の政治リスクはそれほど材料視されない展開を予測している。

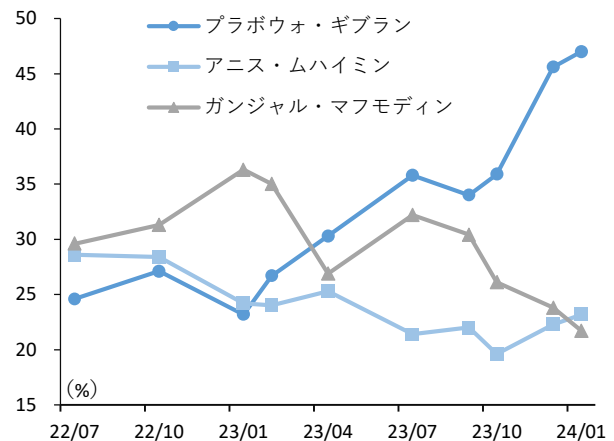
(*) 豊富な資源をそのまま輸出するのではなく、国内で加工し、中間財や完成品のかたちで輸出することを意図した政策。産業振興や雇用創出を目的としている。同政策の下、産業支援策にとどまらず、資源の禁輸や輸出制限に動くなど、保護主義的な政策に傾斜しつつある。

図表 1: 各候補者の支持率



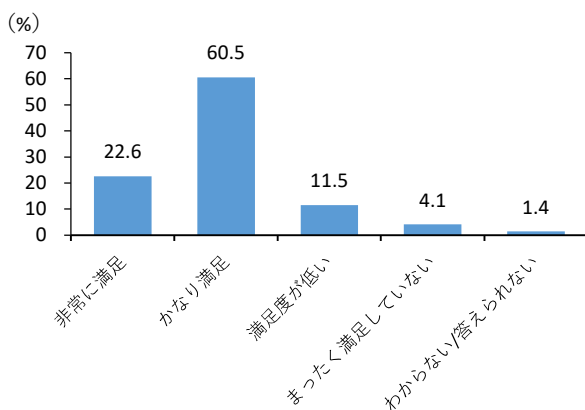
出所: Lembaga Survei Indonesia、みずほ銀行

図表 2: 各候補者の支持率推移



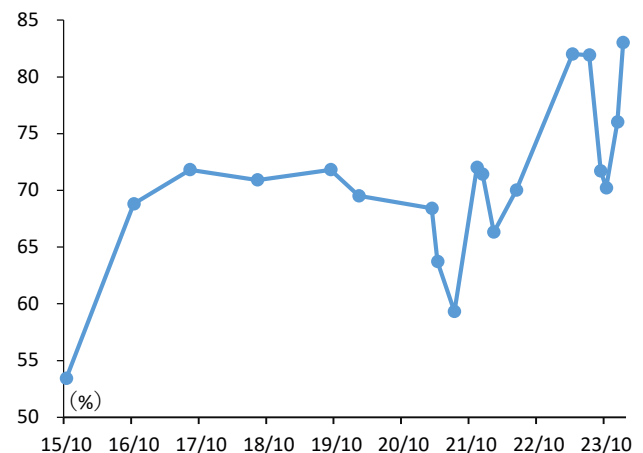
出所: Lembaga Survei Indonesia、みずほ銀行

図表 3: ジョコ大統領の支持率(1 月調査)



出所: Lembaga Survei Indonesia、みずほ銀行

図表 4: ジョコ大統領の支持率推移



出所: Lembaga Survei Indonesia、みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。